



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部



発行人：雨森 正記

事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
HP <http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/index.html>

ニュースレター No.42 (2023.12)

特集1：近畿の話題（今回は兵庫からです）

兵庫県総合診療医・家庭医の集い（BBQ）

大西潤（大西メディカルクリニック/加古郡稲美町）

総合診療・家庭医の先生と、顔の見える形で交流したい、できればBBQもしたい、という思いのもと、兵庫県内の総合診療・家庭医療専攻医・専門医・指導医に集まっていたいただき、2023年9月9日に加古郡稲美町で交流会が開催されました。以前近畿ブロックでは、赤穂研修センターで合宿形式のポートフォリオ道場を行なっていました。夕食はBBQをして、お酒を飲みながら専攻医・指導医で夜通し語り合う…という素晴らしい会であり、それを忘れられない指導医達の思いによって、今回の会が実現しました。交流会は医師だけでなく、診療看護師や多数の家族様も参加いただきました。

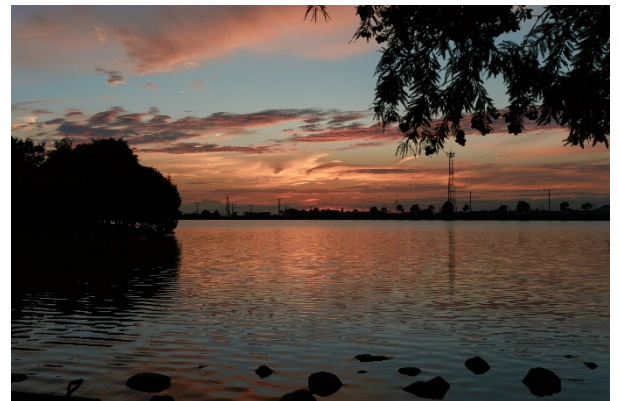
8月30日にはoViceを用いたバーチャル医局の交流会を行い、当日参加がかなわなかった公立豊岡病院出石医療センターの西岡顯先生と、但馬地域の医療の現状や課題について、また医療・福祉・行政の連携を目的とした「但馬を結んで育つ会」についても教えていただきました。

交流会当日の第一部キャリアカフェでは、今後のキャリアに不安を持つ専攻医の悩みを指導医達が優しく受け止め、その傍ら子供たちは巨大なプールとウォータースライダーで遊び回り、参加者全員が楽しめる会となりました。

第二部は甲子園の8.5倍の広さの天満大池を望む公園で、野外BBQを行いました。お肉と酒を片手に交流を深めました。ある先生から「ここは医局みたいな場所だね」という発言がみられたように、総合診療・家庭医を実践する同じ志を持つ同士として、繋がりを感ずることができました。

来年以降も顔の見える関係づくり（BBQ必須）を考えています。兵庫県内だけでなく、近畿圏まで裾野を広げていけたらと思いますので、是非皆様ご参加ください！

最後になりますが、今回の会にご参加・ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。



肉を片手に天満大池を臨む

特集2：第36回近畿地方会開催報告

大島民旗（第36回近畿地方会大会長／大阪家庭医療・総合診療センター／相川診療所／吹田市）

去る11月26日（日）、オンラインで第36回近畿地方会が開催されました。今回は、近畿ブロックの理事・監事＋協力委員の方の実行委員体制とし、①専攻医の先生の研究発表の機会、②参加者同士が交流できる、ことを主眼にしました。おかげさまで36演題の応募があり、すべて事前動画提出していただきました。座長の先生にテーマに沿ったミニレクチャーをお願いし、最後にフリーディスカッションを設けました。交流の企画としてはoViceというバ

ーチャル会議室を使ったランチオン企画を実施し、会場ロビーで話すような感覚が体験できたのでは、と思います。さらには学生向けに「総合診療のキャリア本音トーク」、Off-the Job トレーニング企画として「教育理論と教育ポートフォリオ書き方のコツ」近藤猛先生（名古屋大学医学部附属病院）、「臨床研究 ことはじめ ケースレポートから臨床研究への橋渡し」見坂恒明先生（兵庫県立丹波医療センター）、「臨床現場をマネジメントするための仕事術～臨床判断力を爆上げする2つの道具～」天野雅之先生（奈良奈総合医療センター）と各分野の第一人者の講師陣によるセッションもあり、大変有意義な内容になりました。HPも副実行委員長の手作り、準備から当日運営まで業者委託はせずすべて実行委員と事務局で行ったため至らなかつた点多々あったと思いますが、225名の方に参加登録していただき、終了後のアンケートでは「非常に満足」「かなり満足」「やや満足」合わせて98.9%の方が満足と回答いただけました（すごい！）。

アフターコロナ時代、何もかも元に戻すのではなく、エコを意識した今回の形式も一つの形として提示できたと思います（東京から家庭医の大御所の当日参加もありました。これもオンラインならではのですね）。



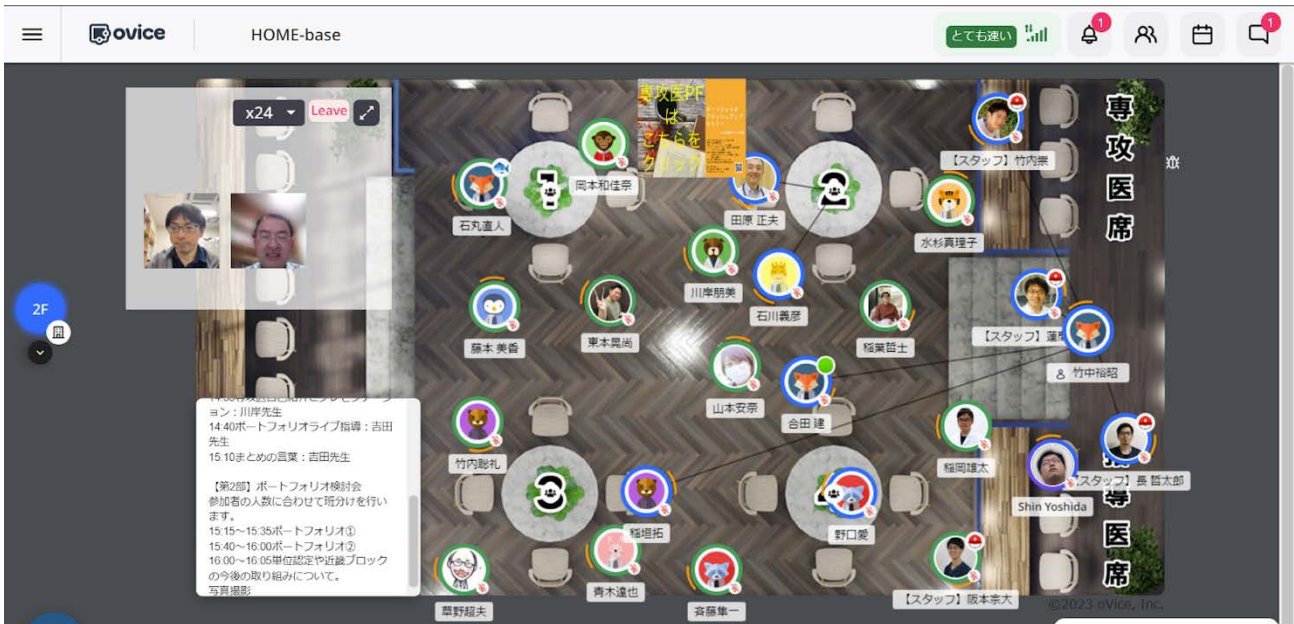
報告：ポートフォリオブラッシュアップセミナー（P-BUS）2023 開催

蓮間英希（大阪家庭医療・総合診療センターファミリークリニックなごみ／大阪市淀川区）

10月14日（土）に第1回 P-BUS 2023 がオンラインで開催されました。今までブラッシュアップセミナーは、近畿地方会内のイベントとして行われていましたが、コロナ禍における地方会のオンライン化などのため開催が困難になっていました。ポートフォリオを書けなかったために家庭医療専門医試験を受けられなかったという人もいたため、近畿ブロックで研修支援を進めていくにはブラッシュアップセミナーの復活が必要と考えて、改めて実行委員長 長 哲太郎先生のもと、第1回 P-BUS を開催することとなりました。今回はオンライン開催で、oVice を使用して参加者は25名（専攻医は9名）となりました。2部構成で、第1部では吉田 伸先生を講師に呼ばせていただいて、代表者2名のポートフォリオ生ライブ指導を行いました。生ライブ指導の様子を指導医も含めてみんなで共有させてもらう貴重な機会となりました。「具体的なアドバイス・文献検索方法が勉強になった」、「対話の方法などが勉強になった」と好評でした。第2部では4グループに分かれて、指導医からのポートフォリオ指導を行いました。事前に提出されたポートフォリオを指導医との対話によって深めていくものとなりました。普段の研修の中ではゆっくりと時間が取れない場面も

あるので、じっくりと指導を受けられてよかった、という声もありました。

P-BUS はポートフォリオが完成していなくても、悩んでいる部分を相談したり、ポートフォリオにできるような事例かどうか、ということも含めて気軽に相談できるような場として今後も継続していく予定ですので、指導医・専攻医の皆様にはまたご参加いただけることをお待ちしております！



活動報告

第 19 回 指導医 FD 研修会開催

中村琢弥 (弓削メディカルクリニック/滋賀県蒲生郡竜王町)

この度、2023年6月8日に以下の要項にて「日本プライマリケア連合学会滋賀県支部 第19回指導医FD研修会」をweb開催しました。講師にはこれまでから滋賀県支部指導医であり、また米国での家庭医療研修にて家族療法のフェローまで終えていた永嶋先生（医療法人滋賀家庭医療学センター 弓削メディカルクリニック 指導医）に、今回は専攻医や指導医、またその関係者もあつめて、米国の Psychosocial Medicine ローテーションでどのように家族志向ケアやメンタルヘルス・行動科学が教育されているかを紹介、そして日本の総合診療研修におけるこの領域の教育について考える機会として実施いただきました。

当日は指導医クラスを中心に9名のメンバーがwebに集まり、海外で学んだ内容の共有と、家族療法についての議論がなされました。海外では日本より先駆けて家庭医療総合診療の研修がおこなわれており、今回は米国のロチェスター大学で学んだ内容を中心に共有されました。特に先方では家庭医療科と精神科との連動プログラムがおこなわれており、まだまだ日本では類を見ないもので、今後日本でも必要となってくるだろう事が感じられました。さらに家族全体の関係性にアプローチする方法を学ぶ事は日本でもまだ限定的であり指導医同士でのディスカッションもまた貴重なものとなりました。



今後も同支部では指導レベルの向上に寄与する学習会展開を続けていく予定です。

第 20 回秋季生涯教育セミナー 「熱気溢れるポートフォリオ発表会の作り方」報告

合田建 (神戸大学医学部 医学教育推進センター/神戸市)

2023年9月23日(土) 11時30分-14時まで現地で行われた「熱気溢れるポートフォリオ発表会の作り方」の報告をいたします。

2009年3月京都にて、8名の後期研修医が発表し、産声を上げたのが近畿ポートフォリオ発表会でした。その後、会を重ねることに参加者は増え、2023年2月には、バーチャル空間を用いた発表形式で、約40演題の発表と、150名程度が参加する、一大イベントとなりました。コロナ禍をきっかけに、試行錯誤しながらも、成長していく近畿ポートフォリオ発表会のつくり方を全国の皆様に共有し、さらに発展していくためにこの会を開催しました。

まずは導入として近畿支部専門研修支援のクロスK project (現在はUp To the 3rd Power) が行っている、ポートフォリオ作成支援三大企画「オリエンテーション合宿」、「地方会ブラッシュアップ企画」、「ポートフォリオ発表会」の紹介から始まり、コープおおさか病院の長哲太郎先生から「近畿ポートフォリオ発表会の歴史・変遷」の講演をしていただきました。

「ポートフォリオ発表会が生まれた理由」では、専攻医教育において、新しく「ポートフォリオ」を用いた教育が導入されました。それを用いた学習や指導が手探りだった状況で、全国に先駆けてプログラムを超えた学び合いの場を作ったことが始まりだったそうです。「過去の発表会の開催状況」では、第4回(2011年度)から専攻医が企画運営を担うようになり、第10回(2017年度)では託児所を設け、第11、12回は大阪医科薬科大学で30-40名の発表者、80名程度の参加者となりました。参加者・発表者の声を取り入れ、毎年ブラッシュアップをしてきた結果、歴史のある大会になっていることを認識することができました。

2020年度はCOVID-19の影響で現地開催が困難になり、若手指導医が運営を担い、オンラインでのP-FES (Portfolio festival) が誕生しました。詳細事例で評価、選抜された発表者がショーケースポートフォリオを披露、当日は特別講演や生指導、交流会といった「型」が出来上がりました。

それ以降、再度専攻医のニーズに即した企画を行うため、専攻医も運営委員に巻き込み、P-FES 2023は全員が発表できる機会をという目的でoViceを導入しました。私を含め、明石医療センターの大西潤先生、京都民医連中央病院の大庭まり子先生、おひさまクリニックの稲岡雄太先生から、会計や評価、当日の企画・運営についての紹介がありました。

最後に明石医療センターの石丸直人先生を中心に、参加者全員で「今後のポートフォリオ発表会」と題し、今までの各ブロックでの課題や、今後の発展に向けてディスカッションしました。

北は北海道から南は宮崎まで、全国から参加された方からそれぞれのブロックの悩みを聞くと、やはり近畿ブロックの取り組みは全国の模範になりうると実感しました。「ポートフォリオを楽しく身近に感じるきっかけとなる。」、「専攻医のポートフォリオ作成の目標となる場を作る。」、「優れたポートフォリオを供覧することで指導医を含めて、全体のレベルアップを図る。」「専攻医・指導医の交流、学生や研修医に総合診療の面白さを伝える。」という目標をもって、今後も皆様の声を頂きながら成長を続ける「ポートフォリオ大会 (P-FES)」を作っていきたいと思っております。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。



地方会内企画：総合診療のキャリア本音トーク 開催

川島篤志（福知山市民病院／福知山市）

今回、地方会開催の負担軽減を狙った、理事会持ち回りのオンライン開催のJPCA近畿地方会、皆さまは参加頂けましたでしょうか？そのなかで、学生企画「総合診療のキャリア 本音トーク」というのがありましたが、実はコレ、医学生5人（残念ながら1名体調不良で欠席）と回答医師（期せずして理事3人に依頼）で、事前に「オンサイト」収録したものでした：11月4日@大阪医科薬科大学。オンライン座談会での一発撮りではなく、キャリアについての事前トークでエンジンを暖めることもでき、収録に臨むことができました（写真）。当日は懇親会も盛り上がり、オンサイトの良さを感じました！

総合診療に進むかどうか、迷われている医学生さんにとって参考になる充実した内容！そして医学生さんがこんな気持ちを持っている、というのも心強く感じました！地方会当日はベテラン先生の参加+チャットでも盛り上がり、「学生さんの質問が、すべてリサーチクエストになる感じですね〜」という大御所先生からのコメントも頂きました。

現時点で地方会HPからの閲覧も可能ですし、今後は期間を限定して、アクセスできるようにもしたいと思えます。ぜひ、ご覧ください。

https://pckinki36.award-con.com/mypage/onlinecongress/room_ontime.php?ontime=76

イベントのなかで、JPCA近畿 医師体験プロジェクトについても少し触れていますが、これからも医学生・初期研修医に我々の診療領域に興味をもってもらえるキッカケづくりを創っていきます。医学生低学年、高学年～初期研修医などを対象に、継続的にこういった集まりを開催したいと思います。こういった時期にこういった規模でやるのが円滑なのかを皆さまに伺ってみたいので、ご協力宜しくお願い致します！

最後に、映像資機材・会場提供のご協力を頂いた大阪医科薬科大学の皆さま、三澤 美和先生に深謝申し上げます。またJPCA近畿支部の補助金も頂きました。この場を借りて感謝いたします。



お知らせ：2024年2月23日 P-FES 開催決定！

田中いつみ（弓削メディカルクリニック／滋賀県蒲生郡竜王町）

ポートフォリオ作成に悩む専攻医はもちろん、毎年添削に苦勞する指導医の先生も対象です！以前は近畿ブロックのプログラムに所属する専攻医が一堂に会し、ショーケースポートフォリオ口頭発表会の場として開催されていたポートフォリオ発表会ですが、2020年度よりオンライン開催となり P-FES と名前を変え、今回で4回目となります。今年も恒例の「ポートフォリオ生指導」を予定しておりますのでお楽しみに。

今回はこのオンラインの取り組みを各ブロックへ持ち帰ろうと、全国よりスタッフが集まりました。そのメンバーでさらにパワーアップした運営をしています。

今回の発表者も JPCA 近畿ブロックの家庭医療・総合診療専攻医、全国のコメディカルが対象です。近畿以外の全国の皆様にも「視聴者」として2月22日（木）まで申し込みいただくことが可能となっております。チケット販売は12月25日（月）頃からを予定しています。

※発表希望者（詳細事例提出）は近畿ブロックの専攻医/全国の多職種に限定させていただきます。

※視聴のみの参加も大歓迎です

※詳細事例登録締め切りは1月9日（火）予定です。

※詳細事例は新・家庭医療専門医、各職種のフォーマットに準ずる、提出方法は後日連絡します。

※学生・初期研修医・KONPass 保有者・評価者は無料です。（他 1500 円）



お知らせ：学会のガバナンス、代議員選挙結果について

朝倉 健太郎（大福診療所／桜井市）

理事は代議員から選出される

学会の運営は、理事長率いる理事会によって行われています。理事会は、理事長、4人の副理事長、34人の理事、2人の監事によって構成され、医療／医学界全体、あるいはプライマリ・ケア領域の情勢を踏まえた本学会のあり方、さらには専門医制度や学会運営など、学会員の学会活動がより活発に、幅広く行われていくために重大な決議がなされています。

さて、この重大な決議を行う理事たちはどのように選ばれるのでしょうか。2023年10月から2024年2月は、ちょうど代議員、理事の選挙期間にあたります。会員のみなさまの中から立候補した代議員候補は、2023年11月から

12月にかけて行われたオンラインの選挙で代議員として選出されました。(2023年12月5日開票) 代議員は会員10人あたり1人の割合でブロック支部毎に選出されます。現在会員は10000人前後ですから、合計で約1000人の代議員が選出されることとなります。そして、理事は、この代議員の中から、代議員によって選出されることとなります。つまり、代議員の重要な任務の一つとして「理事を選出する」ということが挙げられます。

クォータ制導入

また、2024-2025年度理事選挙から、『本学会理事構成員の多様性を推進し、多様な属性の会員の意見を反映するため、理事定数におけるクォータ制が導入されます。理事構成は、男性25%以上、女性25%以上、医師以外の職種10%以上とし、この比率を達成することができるよう、2023年6月11日開催の第15回定時社員総会にて、役員選出規則が改定されました。(日本プライマリ・ケア連合学会ホームページより)』と改定されました。より幅広い立場の理事がバランスよく選出され、多様性のある議論が生まれることが期待されます。学会の重要決議を行う理事会の選出には、間接的ではありますが、会員のみならず、一人ひとりが関わっています。代議員に選出されたみなさまにおかれましては、理事選出という任務をしっかりと遂行していただき、また一般会員のみならずにおかれましては、新しい理事の選出を是非、見届けて下さい。

代議員選挙結果

近畿ブロックでは、この間、ニュースレターを通じて、様々な職種からの代議員選挙の意義についてお伝えしてきました。代議員選挙の結果としましては、全体として女性の割合が17.68%、医師以外の職種割合が9.48%でした。うち近畿ブロック支部においては、女性の割合が14.29%、医師以外の職種割合が5.19%であり、全国平均を下回りました。引き続き近畿ブロックにおいて、多様な属性の会員の意見を反映するためにご協力のほどよろしくお願いいたします。

その他

●近畿ブロックのレジェンドたちのライフヒストリー&感動秘話

- # 1 石丸裕康 先生
- # 2 木戸友幸 先生
- # 3 中山(畔田)明子 先生
- # 4 雨森正記 先生
- # 5 鈴木富雄 先生
- # 6 松井善典 先生
- # 7 竹中裕昭 先生
- # 8 三澤美和 先生



<https://podcasts.apple.com/gb/podcast/legend-of-gp-in-kpca/id1583573369>

- # 9 専門研修をはじめたばかりの3人の専攻医

をゲストに迎え、順調にポッドキャスト収録が進んでいます。ぜひ一度お聞きください。

●2023年11月26日(日)代議員会開催

11月26日にオンライン代議員会が開催されました。

詳しくは当日の議事録をご参照ください。

<https://docs.google.com/document/d/1f82Poe-ws9qdFYucmnaAUbCs9NEWq3-dBV9D9CV9RyA/edit#heading=h.q1axxhec6o8s>

●近畿ブロックの研修支援関係

近畿ブロック専攻医のための研修パスポート「KONPass」も Peatix で販売中です。

これは、春のスタートアップ企画、秋のブラッシュアップセミナー、冬のポートフォリオ発表会、といった3大イベントへの参加に加えて、日々の外来振り返りや、オンライン指導医とメンタリングも、バーチャル医局を用いて、回数制限なくできてしまう、近畿専攻医だけの特別なパスポートです。(年会費 3000 円)

ぜひ専攻医の皆様はこちらをフォローして、チケットの購入をお願いします。

<https://ut3p2023.peatix.com/view>

そして、指導医の皆様も、ぜひフォローをお願いいたします。(指導医の皆様はチケットを購入しないでくださいね。)

●ドクター体験プロジェクトの取り組みを JPCA2024 浜松大会で発表します

近畿にある医学部、大学の低学年向けにプライマリ・ケアの現場に飛び込んでもらう「ドクター体験プロジェクト」の取り組みを、学生がまとめ、2024年6月の浜松大会にて発表する予定です。

ニュースレター編集委員大募集！！

朝倉 健太郎 (大福診療所/桜井市)

近畿ブロックニュースレター編集部では、近畿ブロック支部や各府県支部の取り組み、会員のみなさまの近況などを中心に編集作業に取り組んできました。

3ヶ月毎、年4回の発行を行っており、本誌2023年冬号は42号にあたります。

引き続き、様々な立場、役割を担っている会員のみなさまの活動を幅広く取り上げていくことができればと考えております。

ニュースレターの編集にご興味のある方、一緒に面白い記事を作成してみようかなと思った方は、編集部

kentaroasakura@gmail.com 朝倉 までご一報下さい..

読者の声

今号より、ニュースレターの読者から寄せられた声をご紹介します。

編集部の励みになりますので、いつでもご連絡ください。

「他のプライマリ・ケア医がどういう医療をされているのか知れるのは、非常に刺激になります。」

(専攻医2年目@診療所研修中)

(編集部) ありがとうございます！会員皆様の交流が深まるような記事をこれからも掲載していきます！



[支部からのご連絡] ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！

近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました！

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)

→ 詳細は、上記ホームページをご参照願います。

ホームページ担当：梶原信之